地域包括ケア

黒潮町版システム 進捗は

まずは全庁的に理念共有を



ムとは、団塊の世代が75 問 地域包括ケアシステ 域で自分らしい暮らしを になっても住み慣れた地 を目途に重度な介護状態 医療、介護と介護予防、生 とができるよう、住まい、 歳以上となる2025年 人生の最期まで続けるこ

庁的な取り組みを問う。 テムの構築に向けて、全 潮町版地域包括ケアシス れる仕組みをいう。 活支援が一体的に提供さ ・5%を超えたが、黒 黒潮町でも高齢化率が

合大西 町長

ーズは低下しないが、 介護等サービス利用のニ ってきている現実がある。 より課題解決が困難にな 少子高齢化、核家族化に で解決していた課題が これまで各家庭や地域

れあいセンターを置 中心にはあったかふ いている。 その仕組みづくりの くりが急務である。 合うという仕組みづ が誰かを見守り支え 野では専門職に、その スクの多い専門的分 してくる。今後は、リ 支える納税者は減少 方、地域では誰か

て頂いていることを アや各種活動で支え テムの構築にあたり、 地域でボランティ 地域包括ケアシス

> 場内での共有ができ、地 できるよう努めていく。 域に対して細かな説明が 作業を行っていきたい。 るよう、時間はかかるが、 地域住民の皆さんが自分 各地域で理念の共有等の を考えられる機会を持て の地域がどうあるべきか つながりを持たせながら、 そのために、まずは役



(下田の口ゲートボール場にて) ゲートボールで健康づくり

それらを包括的に、横の 大きな資源としてとらえ、 全生活 交通事故対策は 量販店閉店

状況調査し

ふれあいサロンにて 反射神経の測定中です

か問う。 どのように把握している 長年、わが町の生活を支 において、バランスの取 民の生活の変化について、 えてくれた量販店が閉店 れた食生活からと考える。 した。そのことによる住 若者、高齢者、すべて 健康な暮らしは、子ど

西村 企画調整室長

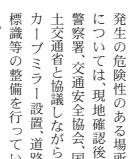
響は、 ともに出てくる影響も含 きながら、時間的経過と 皆様からの情報もいただ 団体や、区長、民生委員の に把握に努めている。他 サービス利用者等への影 とらえている。現在、福祉 の影響は大きなものだと 活をはじめ、日常生活へ いた方は大変多く、食生 れた量販店を利用されて 5月末をもって閉店さ 健康福祉課を中心

> 検討していく。 状況によっては対応等も 業関連でも影響を調べ、 ると考えられるため、産 業員の皆様にも影響があ または仕入れの業者、従 めて把握したい。 以外でも、量販店に卸し、 また買い物等の利用者

通事故のニュースが絶え 故軽減対策を問う。 ないが、わが町の交通事 近年、高齢者による交

通安全教室を実施。事 保育所、小学校では、交 德廣 情報防災課長 故

る。 標識等の整備を行ってい 警察署、交通安全協会、国 については、現地確認後、 発生の危険性のある場 カーブミラー設置、 土交通省と協議しながら、



答青木 地域住民課長

で418名となっている。 昨年度の実績は、30地区 内全域で実施している。 や、反射神経の測定を町 ーによる認知機能の検査 や、交通安全アドバイザ 許証返納支援制度の説明 役場担当者による運転免 地区サロン開催時に、